

平成27年度 十文字元気プロジェクト採択一覧

十文字学園女子大学

No.	プロジェクト名称	代表者	構成員	担当教員	プロジェクト概要
1	フシギ現象で新座の町おこしプロジェクト	人間発達心理学科 13JC034 金井 咲季	9名	人間発達心理学科 東畑 開人	新座市におけるフシギ現象(妖怪伝説、怪異現象、パワースポットなど)について調査を行い、新座市のマップを作成する。具体的には新座市の地誌や民族誌をもとに、フシギ現象が起こる場所について調査を行い、さらに地域の老人や子供などにインタビューを行い、現代的なフシギ現象のありようについて調査を行う。その上で、それらを組み合わせた地図を作成する。このとき、妖怪で町おこしを行っている岩手県遠野市の試みを調査して、観光や町おこしに適したマップの作製を行う。
2	沖縄の伝統と文化、歴史に根ざした学校づくり運動に関する調査・実践プロジェクト	児童教育学科 13JB037 寺山 江美	6名	人間福祉学科 久保田 葉子	教員として必要なる資質や能力の基盤に「表現力」があり、2年次から継続して表現活動に取り組んできた。この度、表現活動に取り組んでいる沖縄市立泡瀬小学校・幼稚園から、当該学校に児童や幼児に対して、本学で学んだ成果を発表して欲しいとの依頼があった。このため、自分たちが学んできた表現活動を実際の学校教育活動に取り入れている場面に学ぶことは大きな財産となるとともに、沖縄の伝統や文化、歴史に根ざした作品を実際の小学校・幼稚園で学ぶ児童や幼児と関わることで、将来教員として学び続ける上での基礎をつくることができる。
3	伝統文化継承プロジェクト	児童教育学科 13JB040 仲 綾乃	4名	児童教育学科 狩野 浩二	本プロジェクトは、埼玉県小川町腰越地区腰上において、耕作放棄地や住宅の庭に大量に放置されている農作物を活用した地域活性化のために行っている活動である。腰上は、およそ70世帯の住民が生活する中山間地域であり、高齢者が多く、町の中心部からは7キロメートルの距離がある。この地域で地域の人たちが今以上に生き生きと、自信やほこりをもって生活していくためには、地域に存在する価値ある素材(伝統文化)を発見・発掘して、その素材を加工し、継承することが必要である。今回の活動を通して、地域の人々とともにプロジェクトを遂行し、伝統文化の発掘、継承し、地域の方たちに還元したい。
4	小川七タユネスコプロジェクト	メディアコミュニケーション学科 13JG035 高橋 穂香	20名	文芸文化学科 松永 修一	2011年から4年間小川町七夕まつり実行委員会のお手伝いをし、昨年は十文字元気プロジェクトに採用され本格的な活動を行い、小川町商工会との信頼関係は益々深まり、本学が提案するイベント企画の時間枠も設定された。本プロジェクトは、メディコミの学生や留学生も一緒になって、日本の伝統的なお祭りの準備や当日の体験を中心とした国際交流の場としても位置付けている。また、昨年は小川町の和紙(細川紙)がユネスコの世界文化遺産として登録されたこともあり、日本の伝統文化の伝承のアピールを小川町役場と一緒にイベント運営のサポートも行う。
5	階段ファイターズ	人間発達心理学科 14JC100 三浦 葉子	4名	人間発達心理学科 平田 智秋	近年国民の体型意識が高まり、メタボという言葉や脂肪燃焼のドリンクなどもよく目にするようになり、今後も肥満や痩せに対する意識は高まると予想される。そして、女性の間ではダイエットや美への意識も高く「痩せる」という言葉は女子大生の会話の中では1日に1階は必ず聞かれる。そこで、本プロジェクトでは、安全かつ安価で手軽にエクササイズを提供しようと階段に注目した。具体的には、階段をもっと身近なものとして使用できるように、iPhoneの「ヘルスケア」アプリを利用して手軽に計測できるようにし、iPhoneを持っていない人たちには万歩計を渡して計測し、みんなで階段の段数で富士山の山頂を目指すイベントを行う。
6	日本の大自然と世界遺産を広めよう	児童教育学科 13JB037 寺山 江美	4名	児童教育学科 増田 吉史	わが国には文化遺産13件、自然遺産4件の世界遺産が登録されている。しかし、これらの世界遺産につ類いての認知・関心度は、あまり高くないように感じる。そこで、本プロジェクトは、世界最大級の原生的なブナ林が残る最後の地域、白神山地を訪れ、取材を通して体験することで、人文胃のかけがえのない宝物である世界遺産を、過去から現在へと引き継ぎ、伝える懸け橋になりたい。そして、それらを絵本という形に残し、将来を担う子どもたちに読み聞かせをし、届けることで、世界に誇る日本の世界遺産、日本の大自然を、未来へとつなげていきたい。